SDGs達成に向けた取組みチェックリス **新規**　事業者名：株式会社　オフィス・エスビーケー

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数　25　　チャレンジ項目記入数　5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を事務所内に掲示し、全社員が常に目にする環境を整えている。新入社員への説明や定期的な朝礼でも理念を確認し、現場での行動に反映できるよう意識づけを行っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		労働安全衛生法や建設業法などに関して、外部の講習会を活用して従業員に受講させるほか、事務所内でも資料や動画を用いた指導を行っている。新規採用者や現場配属時には、安全面の法令遵守について重点的に確認している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		見積・発注の際は、特定業者への偏りがないよう複数業者との比較を行い、透明性を保つルールを社内で共有している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		社長を中心に技術・安全・環境を確認している。事務所と現場で役割を分担し、連携体制を整えている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		他社の知的財産を尊重するため、業務で使用する資料や図面等は出所を明確にし、無断使用を禁止するルールを設けている。社内研修にて著作権やライセンスの基礎知識を定期的に共有し、社員の理解を深めている。また、第三者の資料を利用する際は、必ず使用許諾の確認を行っている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		顧客名簿や連絡先などの個人情報はクラウド上で管理し、アクセス制限を設けて関係者以外は閲覧できないようにしている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		近隣住民・元請け会社・資材業者との打合せを大切にし、現場ごとに工程説明書や挨拶文を配布。年1回の協力会社会議や、外注業者を招いた交流会を通じて、信頼関係の構築と意見交換を行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	息子を次期社長候補として想定しており、まずは現場での実務経験や職人との関係づくりから育成を進めている。経営面については今後、段階的に引き継ぐ予定。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		社内規程にて差別的言動・行動を禁止しており、就業規則やコンプライアンスハンドブックにも明記している。ハラスメントや差別に関する社内相談窓口を設け、匿名での相談も可能としている。また、年1回の社内研修において「ダイバーシティ＆インクルージョン」や「障がい者雇用」などのテーマで教育を実施し、全社員が公平な環境づくりに取り組めるよう啓発している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		フルハーネス着用や安全帯点検の徹底、安全衛生教育を定期的に行い、事故ゼロを目指している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態に関係なく、職務内容や責任に応じた賃金を支給しており、資格を取得した場合は昇給につなげている。アルバイトや若手に対しても技術面での評価制度を設けている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業は必要最低限に見直し、家族の行事や私用などにも有給休暇が取りやすい雰囲気づくりを行っている。個々の生活に合わせて柔軟な働き方を推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		若手に先輩職人がついてマンツーマンで技術指導を行い、現場経験を通じて育成している。社外講習の受講も支援も支援している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		夏場の熱中症対策として、水分補給・こまめな休憩を徹底しているほか、アイスや氷を従業員に提供している。今後は空調服の支給やクーラーの導入も検討しており、体調に配慮した現場づくりに取り組んでいる。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		シニア層・若手それぞれの特性に応じて役割を分担し、無理なく働ける体制を整えている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	会計・原価・勤怠管理をクラウド上で行い、事務作業の効率化を図っているほか、現場でもタブレットやスマートフォンを活用し、写真共有や報告の迅速化など、業務全体の効率化を進めている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **新規**　事業者名：株式会社　オフィス・エスビーケー

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数　25　　チャレンジ項目記入数　5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃材や廃液などは現場で適切に分別・保管し、産廃処理業者を通じて法令に則って処理している。あわせて在庫管理を徹底し、過剰な材料使用や廃材発生を抑えるよう取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎月の電気・ガスの使用量を請求書ベースで記録し、各拠点の使用量をExcelで集計している。年間推移をグラフ化し、前年度比での増減を確認してエネルギー使用状況を把握している。 事務所内の照明をLED化し、不要時には消灯を徹底する運用を行っている。また、空調設備の温度設定（夏28℃、冬20℃）を見直し、使用時間の短縮にも努めている。社員にも節電・節水の意識付けを行うポスター掲示や朝礼での周知を実施中。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		No.23で集計した電気・ガス等の使用量データを基に、熊本県の簡易計算シートを活用してCO_2換算による排出量の算出を行っている。出量の年度比較を行い、温室効果ガスの可視化と削減効果の検証に役立てている。CO_2排出削減に向け、業務車両への電気自動車の導入や、業務におけるオンライン化の推進、紙書類のデジタル化による印刷量の削減を行っている。また、社員の移動時には公共交通機関の利用を促進し、排出源の見直しに取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		現場周辺の緑地や側溝などを汚さないよう配慮し、自然環境に影響を与えない清掃と後片付けを徹底している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		材料の過剰発注を避けるため在庫管理を徹底し、廃材の再利用や端材の別現場での活用を行っている。また裏紙の利用もしている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		洗浄作業時の水使用量を抑えるよう現場で指導を行っており、無駄な使用を防いでいる。今後は現場ごとの使用量を把握し、さらに効率的な管理を目指していきたい。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		事務所では裏紙をメモ用紙などに再利用し、紙資源の削減に取り組んでいる。今後も環境に配慮した消耗品や資材の選定を検討していく。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	現在、電気自動車を1台導入済であり、今後の車両更新時には環境負荷の低い車両への切替えを検討している									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス **新規**　事業者名：株式会社　オフィス・エスビーケー

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数	25	チャレンジ項目記入数	5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		施工前の事前確認・施工後のチェックを徹底し、品質不良や漏水事故を防止している。使用する防水材も実績あるメーカーの製品を選定しており、確かな品質を担保している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		高齢の施主や近隣住民への説明では、専門用語を避け、図や写真を使ってわかりやすく説明をおこなっている。また、足元や動線への配慮など、現場での安全性にも注意を払っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地元自治体と防災協定を結んでおり、災害時の支援体制を整えているほか、地域清掃やボランティア活動などにも積極的に参加し、社会貢献に努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		ハザードマップや避難経路を確認し、地震・台風などの災害に備えた社内対応マニュアルを整備している。事務所や現場での安全確保を意識し、平時から備えを行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	地元自治体と防災協定を締結し、災害時には資材や人員の協力ができる体制を整えている。平時から地域の防災訓練や支援活動にも積極的に参加している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	若手人材の採用を積極的に行い、地元で働き続けられるよう資格取得支援や技術指導を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。